

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長通信
大潟村立大潟中学校
令和4年5月20日(金) 発行
NO.2 文責:安田 和人



市郡夏季総体に向けて

市郡の春季大会が終わり、各部・クラブではそれぞれの課題を見付け、新たな目標の下、練習にも力が入っていることと思います。6月18、19日の夏季総体は、3年生にとって中学校での部活動集大成となり、全県大会に出場するために、何としても負けられない大会です。私は春季大会後の報告会で、「強いチームは用具の整頓等がしっかりしている」という話をしました。大会会場では、挨拶を含め周りへの感謝の気持ちをしっかりと言葉に表したり、行動したりできるのが強いチームであり、応援されるチームです。どうすればそういったチームになるかという、部活動の場だけではなく、普段の学校生活で決まりやルールを守り、相手に対する思いやりの気持ちをもって生活する、という当たり前のことをすることです。ここで大切なことは、大会に出場する選手だけでなく、チーム全員がそうならなくてはならないということです。自分は関係ないと思っている人が一人でもいると、必ずそれは全体へ波及します。チームが一丸となる必要性はそこにあります。悔いの残らない大会にするためにも、日々の練習に気持ちを込めてしっかりと取り組んでいきましょう。

□「凡事徹底」

2、3年生には以前話していますが、凡事徹底という言葉を紹介します。意味は、「誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底してやり続ける」ということです。この言葉を実践した人の例として有名なのは、プロ野球やアメリカのメジャーリーグで活躍したイチロー選手です。イチロー選手は、あるインタビューの中でこんなお話をしています。「僕は高校生活の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」



1日たった10分の素振り自体は、「何でもないような当たり前のこと」ですが、それを「365日徹底してやる」ということが、彼の偉大な記録を達成することに繋がったのだと思います。何でもないような当たり前のことを徹底してやるといっても、その「徹底してやる」ということがとても難しく、続かないという人も多いと思います。では、どのようにしたらイチロー選手のように「凡事徹底」ができるのでしょうか。

凡事徹底する上で「目標の設定」は欠かせません。なぜならば、本当に成し遂げたいと思うことがなければ、そのモチベーション、意欲は長くは続かないからです。自分が達成したいこと、成し遂げたいことが明確にあるからこそ、日々の地道な行動が継続できるのです。モチベーション維持に必要なことは、「心の底から本気でやりたい」と思えることを目標にすることです。「しなければならぬ」と考えて目標を設定している時点で、モチベーションは絶対に長くは続きません。また、本気でやりたいことが見つかったら「頑張れば何とか達成できる」という小目標を、期限を決めて段階的に設定していくことも大切です。このことが大事なポイントになります。「いつかできたらいい」ではなく、「いつまでにやる」というように期限を決めることです。学習においても、「何でもない当たり前のこと」こそが実は重要である場合が多く、その「何でもない当たり前のこと」を徹底的にやるのが、結果的に大きな成果をもたらします。そこには特別な才能など必要なく、段階的に目標を設定して、高いモチベーションを維持できれば、のちに大きな結果を出すことは誰にでもできます。まずは本気でやりたいことを見つけ、それを達成するために何をするかを決め、凡事徹底していくことを心がけましょう。



居心地のよい環境にするための三つのルール

以下のポンチ絵に示されている実践事項は、昨年度から園・小・中が連携して取り組んでいるものです。今年度は4月に行われたPTA総会と生徒総会で、保護者の皆様と全校生徒に周知しました。特に重視してほしいのは、三つのルールの3番目、「人の嫌がることをしない・言わない」ということです。相手の気持ちを考えずに、つい言ったりしたりすることが、人を傷つけたりいじめにつながったりすることがあるので、ご家庭でもご指導のほどよろしく願います。この三つのルールを守ることで、一人一人が自分の言動に責任をもち、思いやりのある集団となり、全生徒が安心して学校生活を送ることができることを願っています。

令和4年度 大潟村連携教育における共通実践事項

『村の全ての子どもたちが、居心地のよい場所で生活・活動するために』

→ ◎ 園・小・中で一貫した規範意識の醸成を目指す

三つのルール

- 1 人の話は最後まで聴く
- 2 人の失敗を笑わない
- 3 人の嫌がることをしない・言わない



規範意識とは → ◎社会で必要とされるルールを守ろうとする意識
◎社会で求められるモラルを守ろうとする意識

三校園、保護者、地域住民の三者が、**信頼と期待を前提とした言葉かけ**をしながら、同歩調で粘り強く指導していく。

規範意識の醸成

ルールが守られ、秩序が保たれていながら、温かい、ふれあいのある学級づくり

ICT教育の推進



5月下旬の予定

□ 部活動主な大会等

各部とも明確な目標をもち、今ある力を発揮し尽くしてください。

| | |
|-------|--|
| 吹奏楽部 | 5/21 (土) 第53回秋田県中央地区吹奏楽祭 (秋田市文化会館) |
| 卓球部 | 5/21 (土) 令和4年度秋田県中学3年生卓球強化交流試合 (美郷町総合体育館) |
| 陸上クラブ | 5/21 (土) 令和4年度秋田県中学生陸上競技記録会 (県営陸上競技場) |
| 野球部 | 5/28, 29(土日) 第48回全県中学校選抜招待野球大会中仙大会 (八乙女球場・中仙中) |

□ 体育祭 5月26日(木) テーマ:「完全燃焼～大中に熱気の渦を～」

5月9日の体育祭集会で各色のメンバーが発表され、今週から体育祭準備期間に入りました。よっちょれ、行進・応援、リレーのバトン練習等、各組のリーダーを中心として日毎にまとまりつつあります。3年生にとっては、これから全ての行事に「中学校最後の」が付きます。勝っても負けても、ずっと思い出に残る体育祭になることを願っています。

